

防犯カメラ：ES-CW883シリーズ



取扱説明書

2018年4月初版
(設置工事説明書付)

- アナログ52万画素シリーズ
 - ・ 筒型・画角自由調整型（バリフォーカル）レンズ
ホワイト：ES-CW883AW/V
- AHD200万画素シリーズ
 - ・ 筒型・画角自由調整型（バリフォーカル）レンズ
ホワイト：ES-CW883PW/V



このたびは、当社製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
当取扱説明書をよくお読み頂き、正しく安全にご使用下さい。
特に、取扱説明書内に記載して御座います電気安全事項は遵守して下さ
いますよう、お願い申し上げます。
尚、この取扱説明書は保証書と一緒に大切に保管してください。

目次

1. 安全上のご注意（必ずお守りください）	3
2. 同梱付属品	3
3. 商品概要	4
4. 配線全体接続例	4
● アナログ52万画素シリーズ（ES-CW883AW/V）の配線例 1	4
● アナログ52万画素シリーズ（ES-CW883AW/V）の配線例 2	5
● アナログ52万画素シリーズ（ES-CW883AW/V）の配線例 3	5
● AHD200万画素シリーズ（ES-CW883PW/V）の配線例 1	6
● AHD200万画素シリーズ（ES-CW883PW/V）の配線例 2	6
● AHD200万画素シリーズ（ES-CW883PW/V）の配線例 3	7
● AHD200万画素シリーズ（ES-CW883PW/V）の配線例 4	7
● AHD200万画素シリーズ（ES-CW883PW/V）の配線例 5	8
5. 配線ケーブルご使用の際のご注意	9
6. 設置工事（準備編）	11
7. 設置工事（赤外線LEDと投射距離）	12
8. 設置工事（カメラの設置場所について）	13
9. 設置工事（実際の設置工事）	15
10. 設置工事（応用編・プルボックス施工）	18
11. 設置工事（ケーブル接続・処理方法）	21
12. レコーダーで本機を録画するときの注意点	22
13. 本機画素数とモニター画素数	22
14. カメラ外観図	23
15. カメラ仕様	24
①アナログ52万画素カメラ	24
②AHD200万画素カメラ	25
16. アフターサービスについて	27

1. 安全上のご注意（必ずお守りください）



警告事項

- ① 設置工事は電源工事が必要な場合も御座います事から、工事業者が行って下さい。
- ② 異常が見られた場合には、全ての電源（コンセントを抜く等）を遮断して触れないようにしてください。放って置きますと、火災の原因になります。
- ③ 分解しないで下さい。機器内部に人体が触れますと感電する可能性があります。
- ④ 水気・湿気の多い場所に置かないで下さい。
- ⑤ 濡れた手で触れないで下さい。感電・火災の原因になります。
- ⑥ 設置工事の際、筐体・躯体へ止めるときは必ず決められた部材（アンカー・コンクリートビス等）で設置してください。落下の原因になります。
- ⑦ 雷の際の工事は直ちに中止してください。また配線の一切に触れないで下さい。
- ⑧ コード・ケーブル類の破損の恐れがある場所への配線は避けて下さい。
- ⑨ 電源プラグは確実に差し込んで下さい。また定期的にプラグの清掃をお願い致します。



禁止事項

- ① 専用アダプタへの電源は必ず A C 1 0 0 V を接続してください。
- ② 機器へは必ず決められた電源を供給してください。
- ③ ケーブル類は必ず決められた太さのケーブルを使用してください。感電・火災の原因になります。
- ④ 仕様表に基づく使用環境を遵守して下さい。

2. 同梱付属品

- | | |
|----------------------|-----|
| ① カメラ本機 | 1 台 |
| ② 角度調整用六角レンチ | 1 本 |
| ③ カール P C プラグ（緑色の部材） | 4 本 |
| ④ 木ネジ | 4 本 |
| ⑤ 取扱説明書 | 1 冊 |
| ⑥ 製品保証書 | 1 通 |

電源アダプタ、ケーブル関連は別売りです。
レコーダーとのセット商品の場合はケーブル・アダプタが付属します。

3. 商品概要

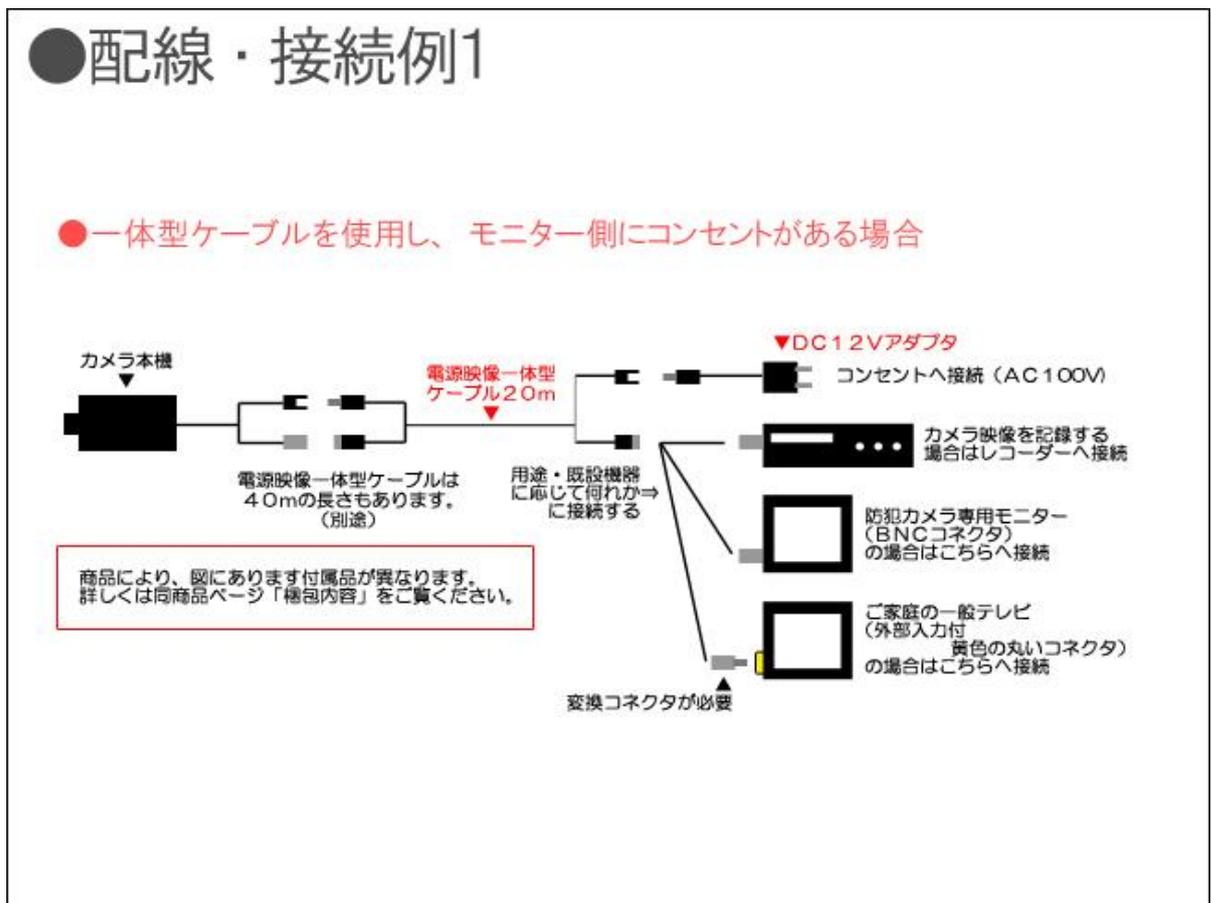
監視・防犯カメラ 暗視・防滴防雨・赤外線暗視機能搭載型カメラです。
主にご家庭・小規模店舗及び商店様向けです。

画素数は、

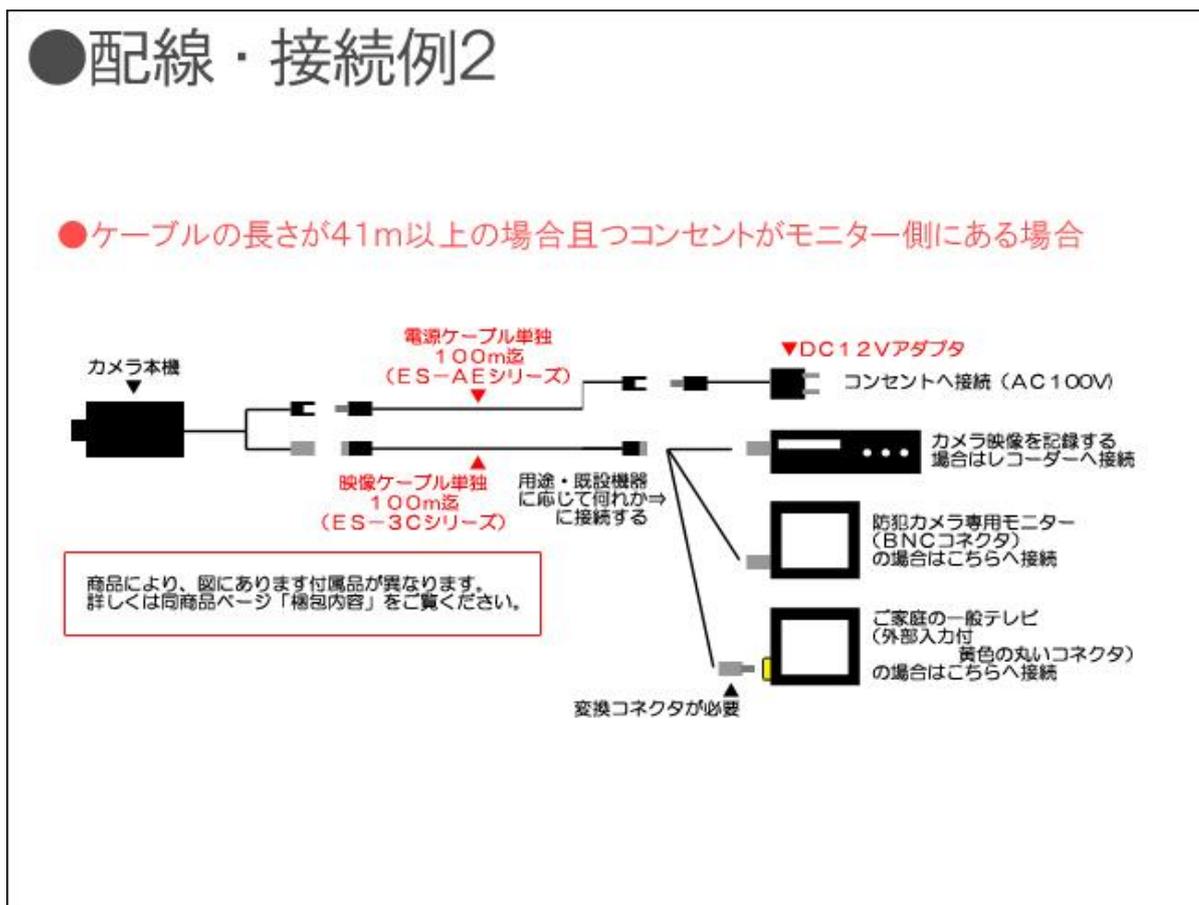
- アナログ52万画素シリーズ
 - ・ 筒型・画角自由調整型（パリアフォーカル）レンズ
ホワイト：ES-CW883AW/V
- AHD200万画素シリーズ
 - ・ 筒型・画角自由調整型（パリアフォーカル）レンズ
ホワイト：ES-CW883PW/V

4. 配線全体接続例

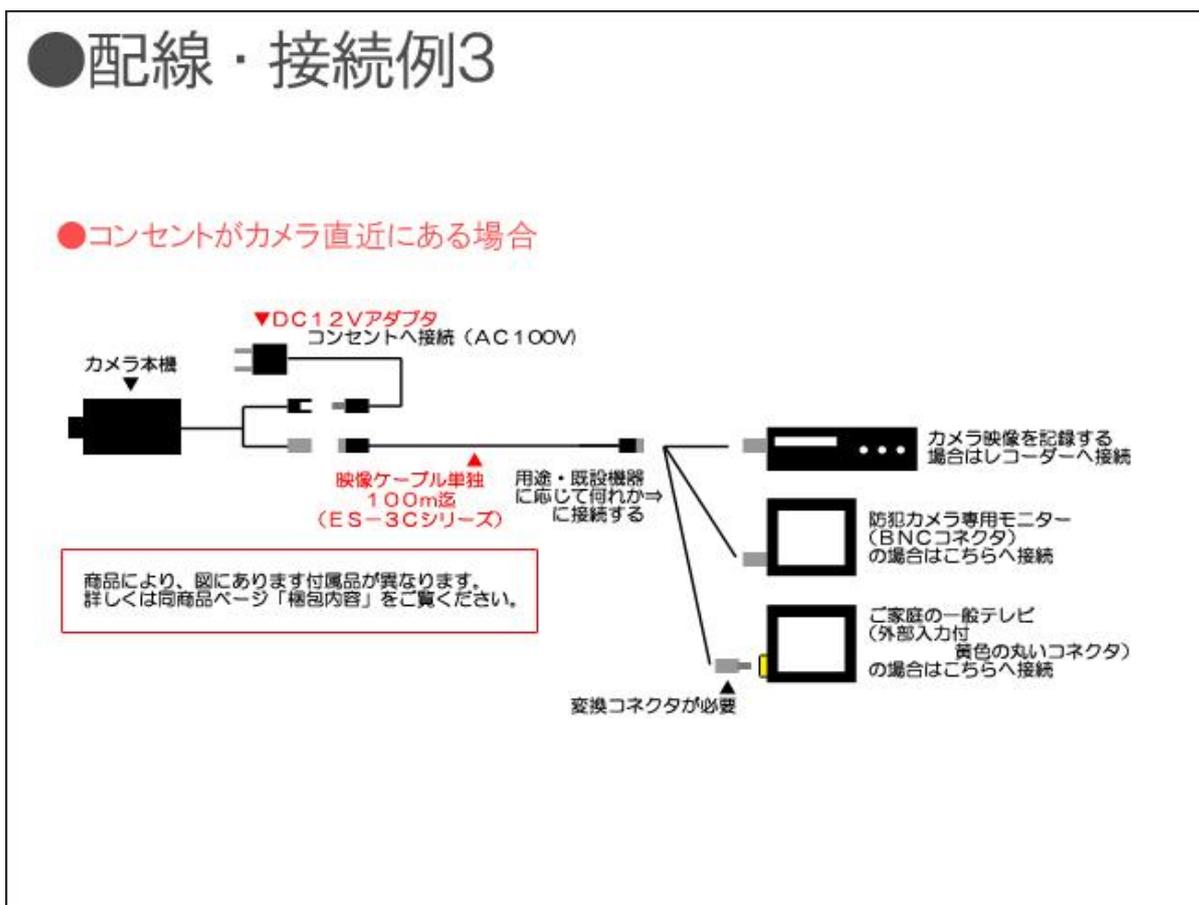
- アナログ52万画素シリーズ（ES-CW883AW/V）の配線例 1



- アナログ52万画素シリーズ (ES-CW883AW/V) の配線例 2



- アナログ52万画素シリーズ (ES-CW883AW/V) の配線例 3



● AHD200万画素シリーズ (ES-CW883PW/V) の配線例 1

●配線・接続例1

●一体型ケーブルを使用し、モニター側にコンセントがある場合

※一体型ケーブルは20m以上の長さのものは使用出来ません。
 20m以上の長さになる場合は
 ・映像線 (3C-2V以上)
 ・電源線 (芯線太さ0.9mm 以上)
 をご利用ください。

カメラ本機

電源映像一体型ケーブル20m

▼DC12Vアダプタ
コンセントへ接続 (AC100V)

カメラ映像を記録する場合はレコーダーへ接続

商品により、図にあります付属品が異なります。
詳しくは同商品ページ「梱包内容」をご覧ください。

● AHD200万画素シリーズ (ES-CW883PW/V) の配線例 2

●配線・接続例2

●ケーブルの長さが21m~100mの場合且つコンセントがモニター側にある場合

カメラ本機

電源ケーブル単独
100m迄
(ES-AEシリーズ)

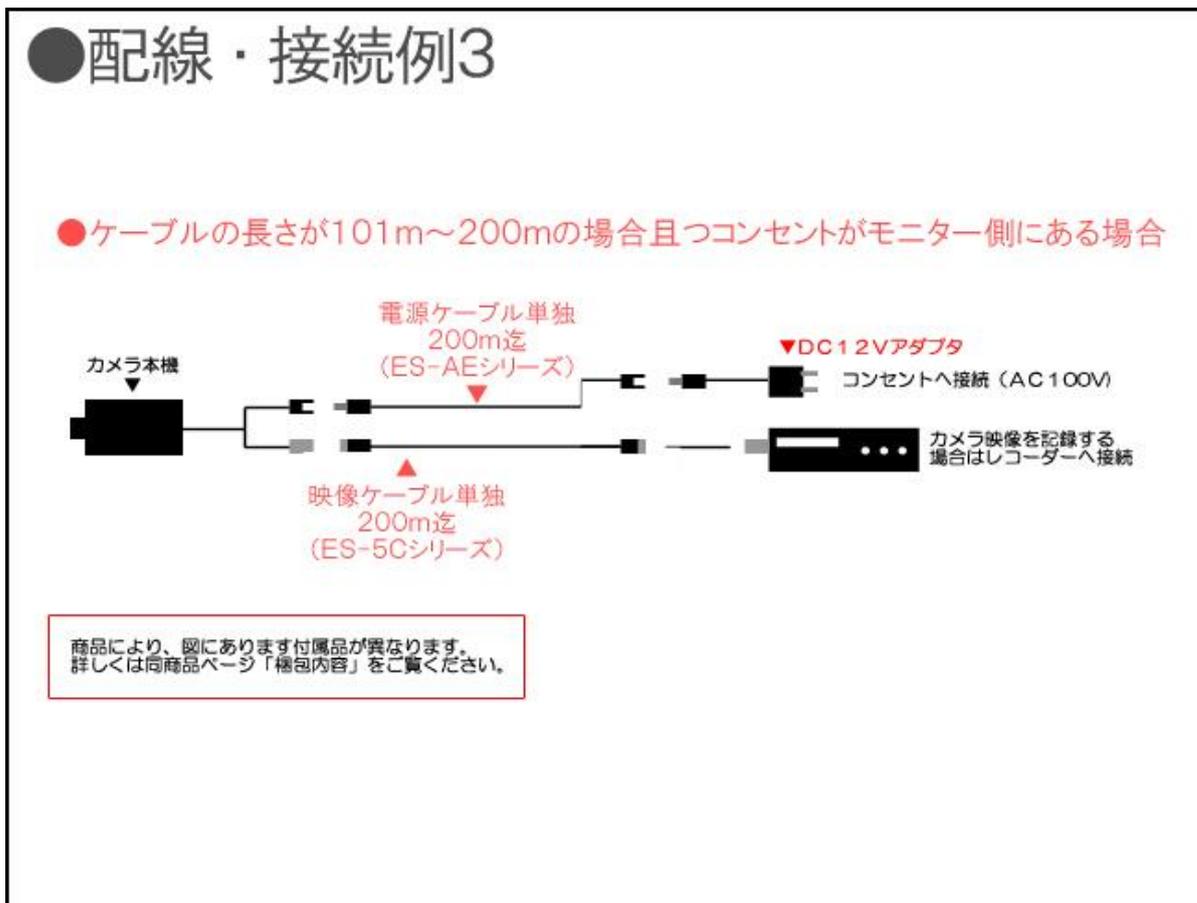
映像ケーブル単独
100m迄
(ES-3Cシリーズ)

▼DC12Vアダプタ
コンセントへ接続 (AC100V)

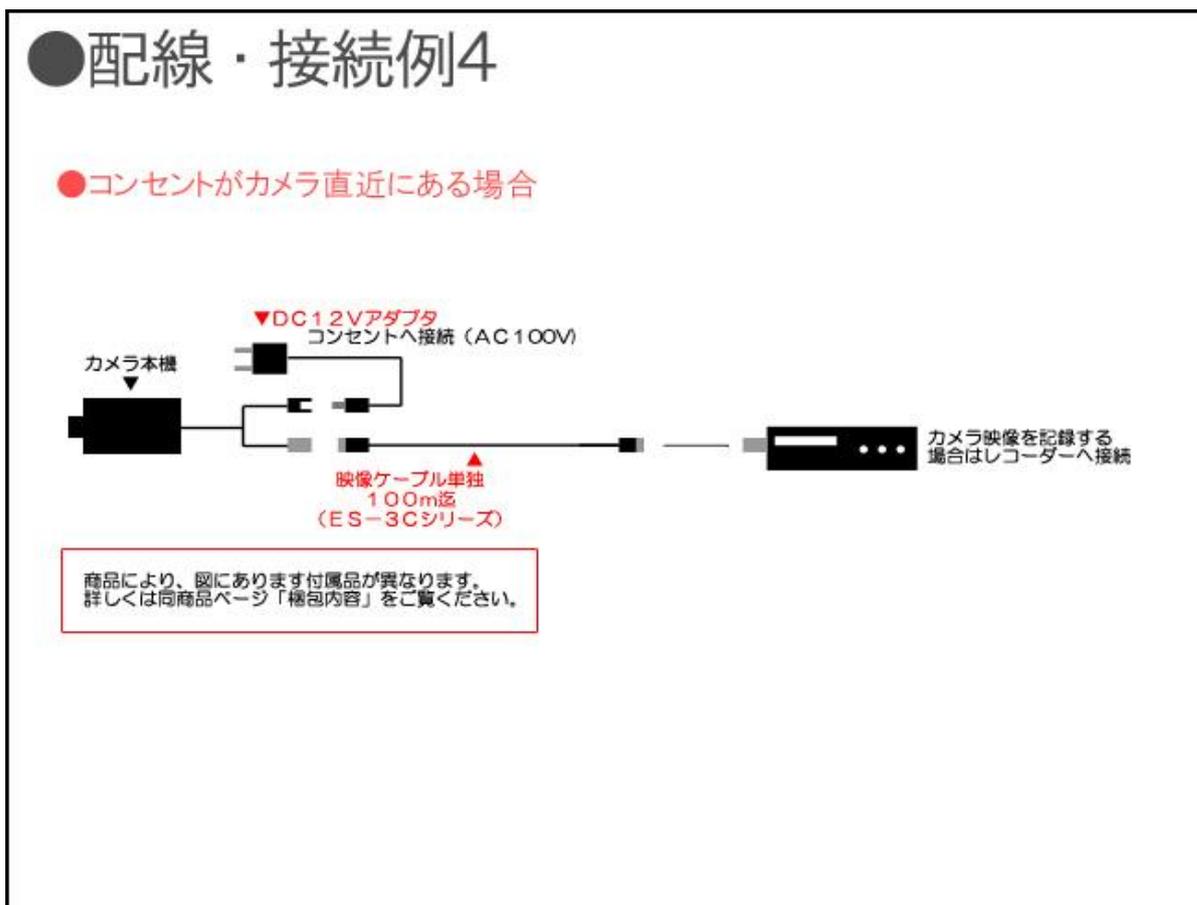
カメラ映像を記録する場合はレコーダーへ接続

商品により、図にあります付属品が異なります。
詳しくは同商品ページ「梱包内容」をご覧ください。

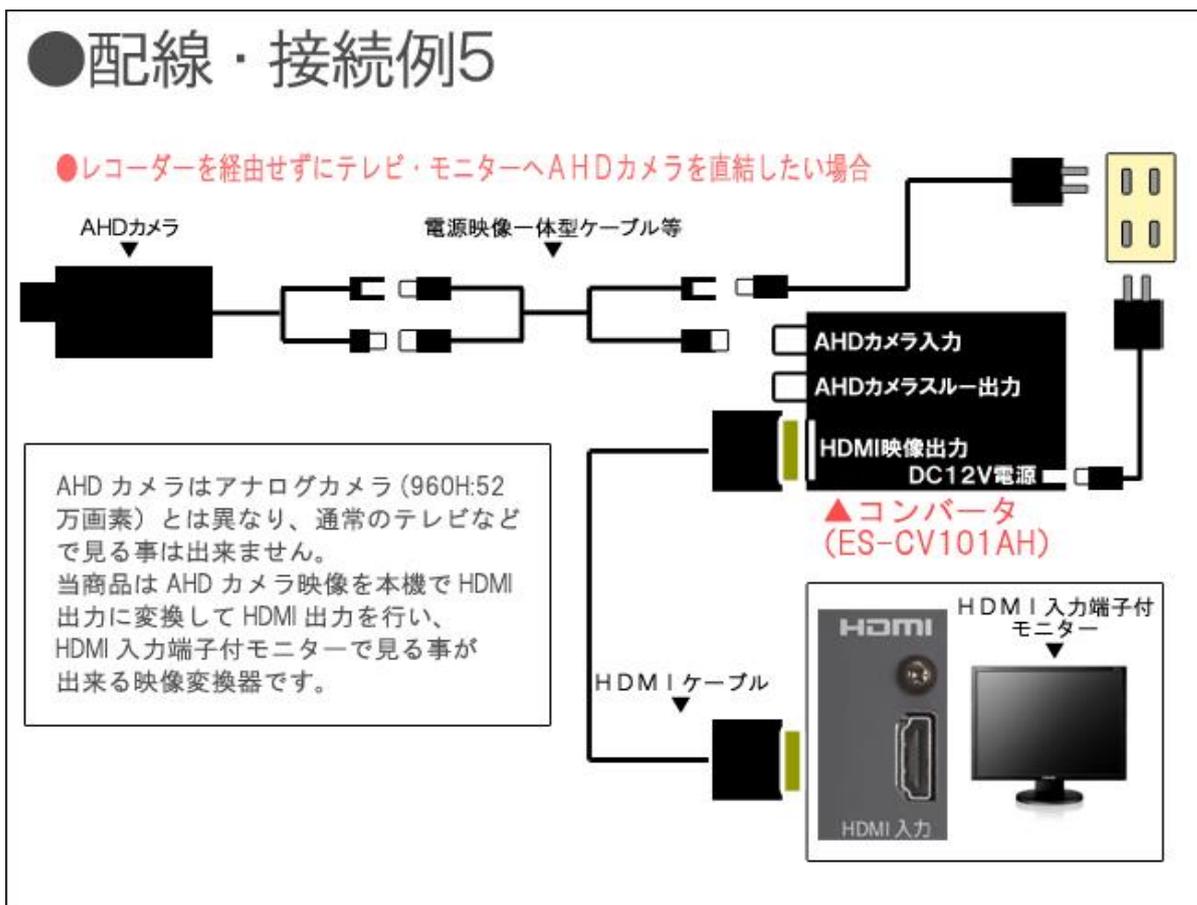
- AHD200万画素シリーズ (ES-CW883PW/V) の配線例 3



- AHD200万画素シリーズ (ES-CW883PW/V) の配線例 4



- AHD200万画素シリーズ (ES-CW883PW/V) の配線例 5



5. 配線ケーブルご使用の際のご注意

① 電源映像一体型ケーブルの使用条件

電源映像一体型ケーブルは

- ・ アナログ52万画素の場合 20mまたは40mをジョイント（一体型ケーブル同士継ぎ足し接続）なしで1本迄
- ・ AHD200万画素の場合 20mのみ(21m以上の一体型ケーブルは使用出来ません)

になります。

② 映像ラインのケーブル選定

ケーブル長	1 m～2 0 m		2 1 m～4 0 m		4 1 m～1 0 0 m		1 0 1 m～2 0 0 m	
	アナログ	AHD	アナログ	AHD	アナログ	AHD	アナログ	AHD
一体型ケーブル	○	○	○	×	-	-	-	-
同軸ケーブル3C	○	○	○	○	○	○	○	△
同軸ケーブル5C	○	○	○	○	○	○	○	○

○：問題ない。

△：電磁誘導の要因があった場合、映像にノイズが乗る場合がある。

×：映像不良の誘発に繋がります。

※ 同軸ケーブルのインピーダンスは75Ωで種類はF・B・2Vどちらでも可。

③ 電源ラインのケーブル選定

ケーブル長	1 m～2 0 m		2 1 m～4 0 m		4 1 m～1 0 0 m		1 0 1 m～2 0 0 m	
	アナログ	AHD	アナログ	AHD	アナログ	AHD	アナログ	AHD
一体型ケーブル	○	○	○	×	-	-	-	-
2芯・太さ0.9mm	○	○	○	○	○	○	○	△
2芯・太さ1.2mm	○	○	○	○	○	○	○	○

○：問題ない。

×：電圧ドロップにより、カメラに十分電圧供給出来ない可能性がある。

※ 電源ラインで一体型ケーブル以外には、HP,CPEV,AE,OP線等。

 電源ラインのケーブルにおいては0.9mm以下の使用は避けて下さい。
※0.9～1.2mm推奨

④ 共通の注意事項



- ① 配線するケーブル線種の長さは上記表を遵守してください。
- ② カメラから機器側末端までケーブルのジョイントは極力避けて下さい。
- ③ ケーブルは強電ラインと確実に離して配線を行ってください。
- ④ 一体型ケーブル以外を使用する場合は、カメラ側・機器側に合うコネクタを別途、お客様にて調達する必要があります。

⑤ 一体型ケーブル以外を配線した場合の、必要なコネクタ類

- 映像ライン（同軸ケーブルの場合）はインピーダンス75ΩのBNCコネクタ
 - 1) 同軸ケーブルは3C-FBの場合は3C用圧着式コネクタ
当社型番：BNC-3C
但し、コネクタを取付するには専用の圧着工具が別途必要です。
- 電源ライン（2芯ケーブルの場合）は以下の2点
 - 1) DC12Vケーブルサキバラ用コネクタ/メスジャック・ネジ締式取付 当社型番：ES-DCP55JM
 - 2) DC12Vケーブルサキバラ用コネクタ/オスプラグ・ネジ締式取付 当社型番：ES-DCP55PO

6. 設置工事（準備編）

- カメラの設置位置を決めるため、設置予定箇所に仮設（手で持つ等）して実際にモニタリングしてください。
- 下記②にてカメラ固定が出来るかどうか、設置面に入線口用の開口が出来るかどうかの確認もする必要があります。
- 電源周波数50Hz地域（東日本）は照明直下・直近ですチラつきが発生する恐れがあります。極力照明から離し、且つ照明が極力画像内に入らないよう角度調整してください。
- 本機は機種により、カメラと被写体との直線距離目安があります。
これは顔などの証拠能力として捉えられる目安範囲（当社にてお勧め値・目安値）です。

- ・ ES-CW817シリーズ 2～5m
- ・ ES-CW883シリーズ 2～15m ※ 本機
- ・ ES-CD650シリーズ 2～5m
- ・ ES-CD619シリーズ 2～5m

これを1つの目安として設置位置を検討してください。

- 設置位置（屋外・屋内）の設置可能場所は以下の通りです。
 - ・ ES-CW817シリーズ 屋内・屋外（雨ざらし対応可）
 - ・ ES-CW883シリーズ 屋内・屋外（雨ざらし対応可） ※ 本機
 - ・ ES-CD650シリーズ 屋内・屋外（雨ざらし対応可）
 - ・ ES-CD619シリーズ 屋内・屋外（水気の無い軒下は可能、雨ざらし不可）

これらを考慮して設置位置を決めてください。

7. 設置工事（赤外線LEDと投射距離）

本機は周辺が暗くなるとレンズ部周辺の赤外線LEDが作動して、照明がない場所でも被写体を白黒で映し出す事が出来ます。

但し、以下の付帯条件があります。

① 赤外線LEDの照射距離目安は、

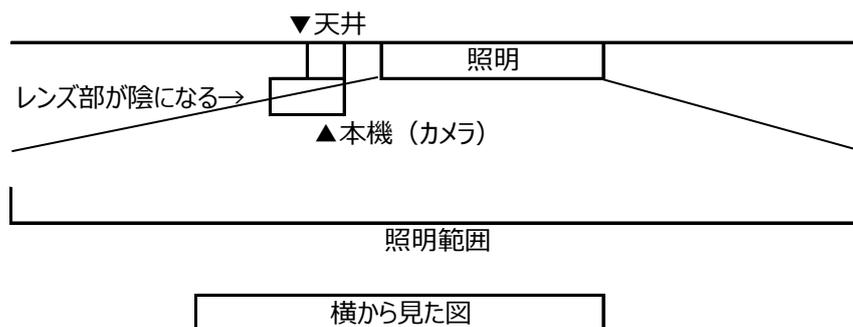
- ・ ES-CW817シリーズ 15m
- ・ ES-CW883シリーズ 20m ※ 本機
- ・ ES-CD650シリーズ 10m
- ・ ES-CD619シリーズ 10m

です。

② 映像で捉える事の出来る条件は、上記照射距離内に被写体がある場合で、本機から照射する赤外線が被写体が浴びる事が必須です。
従って、照射距離外または赤外線を浴びる事が出来ない空間（景色など）は捉える事が出来ません。

③ 禁止ではありませんが、本機前面にガラスなどの反射する要素がある場合で赤外線LEDが作動（点灯）した場合、赤外線LEDがガラスに反射して、映像が不鮮明または確認出来ない状態になります。

④ 明るい場所でも以下のような条件の場合、赤外線LEDが作動して映像が白黒になる場合があります。



⑤ 照明の色が通常の蛍光色以外で周囲が明るい場合でも赤外線LEDが作動して映像が白黒になる場合があります。

⑥ メインとなる被写体に補助的にセンサーライトなどの照明を夜間に照射した場合、その光を本機が拾って、本機の赤外線LEDが作動しない場合があります。

この場合、被写体を鮮明に捉える事が出来ない可能性があります。

補助照明がある場合は、かならず夜間時に赤外線LEDが作動するか否か確認を行ってください。

被写体はイメージ通りに捉える事が出来ているか否かを画像で確認する必要があります。

⑦ カメラレンズ部（ガラス面内側）は輝度センサーが内蔵され、このセンサーで明るさ・暗さを検知して赤外線ON・OFFを制御しています。カメラレンズ部（ガラス面）は塞がないようにしてください。

塞いだり障害のあるようなもので光が遮られたりすると、赤外線LEDが正常に作動しません。

8. 設置工事（カメラの設置場所について）



複数の項目で設置条件や注意点を記載しておりますが、ポイントとしては本項はさっと目を通すに留めてあとは本設前に、仮に本機を手で持って設置デモ（確認）を行い、弊害がなければ本設というポイント 流れが一番円滑に設置工事が進みます。

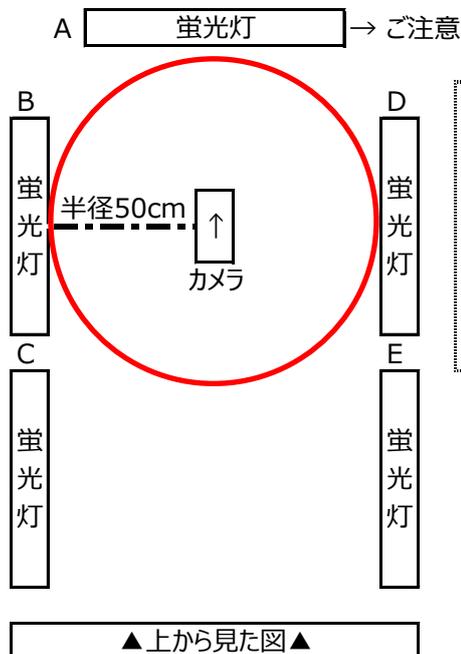
本機は設置する周囲の環境により、設置可能・設置禁止場所があります。

① 設置可能場所

- 屋外（雨晒し環境可能）
※「ドーム型（ES-CD650シリーズ）」は設置面にコーキング施工が必要です。
【P58】-「▼屋外設置（防水対策）について」をご覧ください。
- 屋内（粉塵が多い場所も可能）

② 設置不可場所

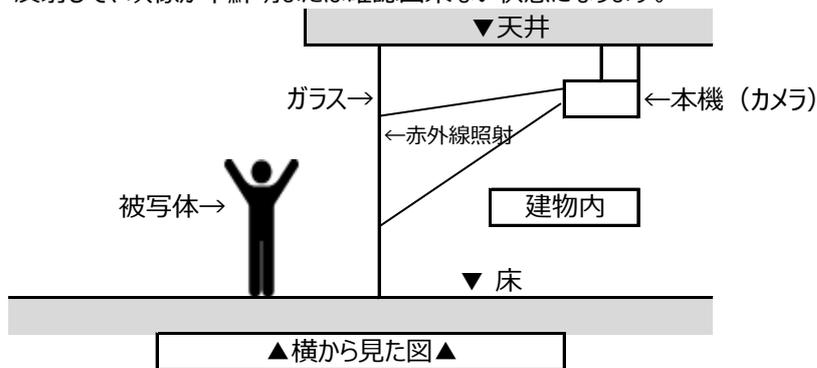
- 設置個所気温が別項仕様書記載の「使用温度範囲」の範囲外の気温の場所
- 湿度が「90%以上」になる環境。または通常使用環境範囲を明らかに逸脱している環境。
- 冷凍庫、サウナ、スチーム室、浴室など上記・禁止気温及び湿度になる可能性がある場所。
- 海水が直接かかるような場所（本機は塩害仕様ではありません）。
- 本機設置個所が照明機器（蛍光灯・水銀灯など）との間隔が50cm以内になるような場所。
（照明機器とは50cm以上離して設置してください。映像上に発生するノイズの原因になります）



ご注意

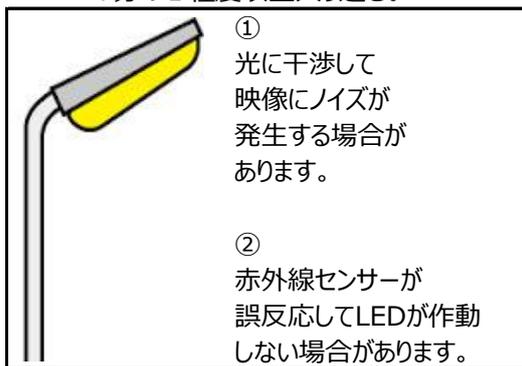
左図は、カメラから規定距離50cm離していますので原則、問題ありません。しかし、Aの蛍光灯の場合は本機に対して光のカーテンになっている状態を映している事になります。これは蛍光灯の明るさによりハレーションを起こす場合がありますので予め、本設前にテストを行ってください。

- 禁止ではありませんが、以下の設置環境且つ赤外線LEDが作動（点灯）した場合、赤外線LEDがガラスに反射して、映像が不鮮明または確認出来ない状態になります。



- ライブ映像の中に照明の光源が入りそうな場所。

例 1 : ライブ映像上に外灯光源部分が
4分の1程度以上入り込む。



例 2 : ライブ映像上に外灯光源部分が
ライブ映像中心に来る場合。



共通事項ですが、映像上に1点光が強い点があると
周りの被写体が黒くなる特性があります。

設置後は必ず本機の映像を確認してください。

映像は、



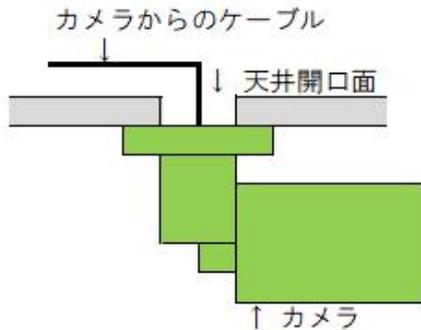
ご注意

- 赤外線暗視LEDが作動していない日中の映像
 - 赤外線暗視LEDが作動している夜間の映像
- の2点を必ず確認してください。

鮮明ではない、またはイメージと異なる場合は、
本機設置位置の再検討をしてください。

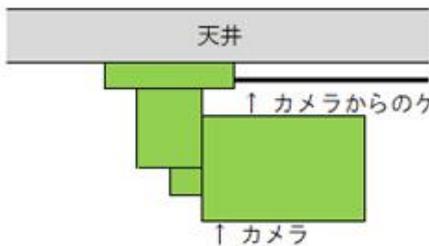
●設置工事・STEP1

カメラから出ているケーブルの逃がし方を検討してください。



このように天井裏へケーブルを逃がせる場合

→ 予め天井面に30mm程開口してください。



このように天井裏へケーブルを逃がせない場合



●設置工事・STEP2

取付ベース部の取付穴から止め部材（ビス等）を使ってカメラを取り付けます。

3点のビス穴にビスを打ち込みます。



この作業時のご注意【重要】

設置面の材質により止め部材を変えてください。
尚、同梱しておりますビスは設置面が木板の場合のみ使用してください。
以下は材質によつての適切な止め部材例を示します。

- 石膏ボードの場合：ボードアンカー、壁ロック
- コンクリート等：コンクリートビス
(インパクト・ハンマードリル開口必要)
- 木板：同梱の木ビス他

屋外の場合の止め部材はステンレスを選定してください。
当止め穴は3.5mm 3点ですのでビスの太さは3～3.5mmが適切です。
同梱の木ビス以外はお客様にてご調達ください。
止め部材の選定を誤りますと落下・脱落の危険性があります。

● 角度調整方法

付属の六角レンチで
以下3点を緩めたり
締めたりします。



←ここを緩めるとカメラの
水平（右左）方向調整
が出来ます。
反対側にもネジがあります。

↑
ここを緩めるとカメラの
垂直（上下）方向
調整が出来ます。

↑
ここを緩めるとカメラの
映像傾きを調整出来ます。
傾き方によって左右調整
します（A図）。
反対側にもネジがあります。



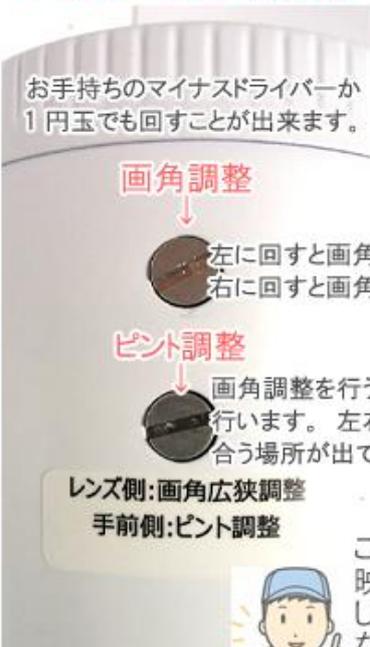
この作業はモニター
映像を見ながら調整
します。
なのでモニター側・
カメラ側で2名作業を
お勧めします。



- 最後の手順
上記の3点を付属の六角レンチで実に固く締めます。
これが緩いと、経年で映像の角度が変わってきてしまいます。

● バリフォーカルレンズ調整方法

▼写真1：カメラ底面部



この作業はモニター
映像を見ながら調整
します。
なのでモニター側・
カメラ側で2名作業を
お勧めします。



調整する際の注意点

- 画角調整は回し切った（回るのが止まった
ところ）でピンと調整しても、ピンは合いま
せん。回し切って止まったら、少し戻した
ところでピン調整を行ってください。
- 強い力で回さないでください。
強い力で回すと、本来回しが止まる部分
を通過してしまい、調整機構が破壊されてしま
います。
- 画角が広いと、
撮影範囲は広くなりますが、被写体が小さく
なります。
画角が狭いと、
撮影範囲は狭くなりますが、被写体が大きく
被写体の識別（顔など）がしやすくなります。
この特性を考慮して調整を行ってください。

10. 設置工事（応用編・プルボックス施工）

屋外設置の場合、ケーブルを隠蔽できる状態であれ心配はありませんが、ケーブルを隠蔽出来ない場合は、カメラとケーブルの接続部が露出してしまいます。

次項ではビニールテープを使用しての処理方法を記載しておりますが、本項のようにプルボックスを使用すれば接続部を完全に隠蔽出来、且つメンテナンス性にも優れています。

本項でご紹介するのはあくまでもお勧めの施工方法です。

●プルボックス施工・STEP1

以下のようなボックスを使用します。
当社でもご用意可能です（当社加工費含・別売り）。
推奨するプルボックスは

- ボックスメーカー：未来工業
- 名称：PVK ボックス（防水タイプ）おねじキャップ付
- 製品型番：PVK-ANPJ（ベージュ）

プルボックスは当社でも加工・組立、付属品付で販売しております。

です。下記写真はボックスの図面・写真です。



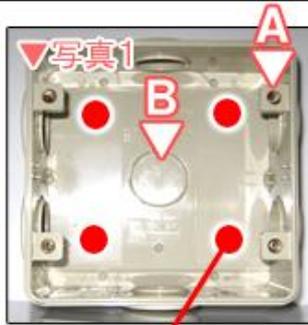
類似品はホームセンター電気材料コーナーでも容易に入手できます。

●プルボックス施工・STEP2

このプルボックスのフタを以下のように加工します。



フタ側にカメラ止穴を3点と中央に30mmの入線口1点。
ステンレス鍋頭・首下30mmのビス3本
ステンレス4mm用平ワッシャー3枚
ステンレス4mmナット3個
でフタと連結します。



次にボックス内部に左写真のように5mm程度の穴を4点開けて、ボックスを設置面に固定するビス穴を作ります。
この5mm程度の穴を開ける時に気を付けなければいけないのがフタとボックス固定するA部分のネジ穴と今から開ける穴が被らないようにしてください。
設置面内側からケーブルが入る場合、Bが切込になっていますのでドライバーなどで叩くと簡単に穴が空きます。

底面に5mm程度の穴を4点開ける。

●プルボックス施工・STEP3

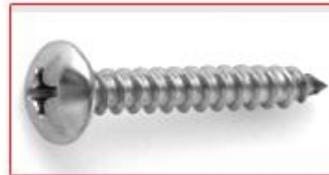


次の工程として前項の写真1のボックス本体をビスなどで固定します。
当社でボックス（加工済・付属品付）の場合は設置面止め部材として、

ステンレストラストッピンビス・首下40mm 4本



※重要※



が同梱されています。

但し、設置面により止め部材を変更する必要があります。
以下は使用例です。

石膏ボードの場合：ボードアンカー、壁ロック、パット・ITハンガー
コンクリート等の躯体：コンクリートビス、ノンプラグ

ビスの太さは4mmが適切です。
同梱のビス以外はお客様にてご調達ください。
止め部材の選定を誤りますと落下・脱落の危険性があります。

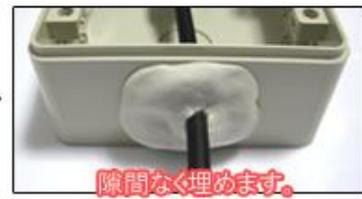
●プルボックス施工・STEP4



左写真のようにケーブルをボックス内に入れ込み、接続して写真の様にケーブルを収納してカメラ側のフタを被せてください。



PF管という電気材料にケーブルを通すとケーブルが完全に保護出来ます。簡易的にケーブルを保護する場合（ご家庭やPF管設置が技術的に困難な場合）は踏まれないようなルートを確認してください。



11. 設置工事（ケーブル接続・処理方法）

ケーブルの両端の電源コネクタ形状は異なります。
従って、ケーブルを配線する場合以下のようなよう配線をお願い致します。

機器側（モニター等）
電源ラインがメスになる

カメラ側
電源ラインがオスになる

※ 左写真は一体型ケーブルを例にしてありますが、電源コネクタのメス・オスの識別は、他ケーブルでも同様です。



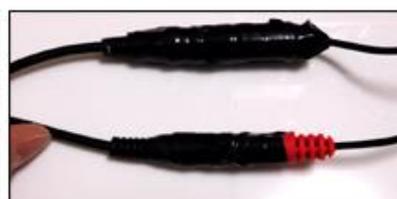
下記写真の接続部が屋外露出する場合、外気と水気に触れないよう、以下の写真のように接続部を電気工事用ビニルテープで保護してください。



▲
カメラ・一体型ケーブル
接続前



▲
カメラ・一体型ケーブル
接続後



▲
接続部をビニルテープで
嚴重に保護する
※文房具テープは不可
電気工事用をご利用ください。

※電気工事用ビニルテープはホームセンターの電気材料・資材コーナーなどで安価で入手可能です。

※ 上写真は一体型ケーブルを例にしてありますが、他ケーブルでも処理方法は同様です。

12. レコーダーで本機を録画するときの注意点

① アナログ52万画素シリーズの場合

レコーダーで録画する場合のエンコードは「960H」で録画します。
またエンコード設定で「960H」の設定項目があるレコーダーのみで録画する事が出来ます。

② AHD200万画素シリーズの場合

レコーダーで録画する場合のエンコードは「1080P」で録画します。
またエンコード設定で「1080P」の設定項目があるレコーダーのみで録画する事が出来ます。

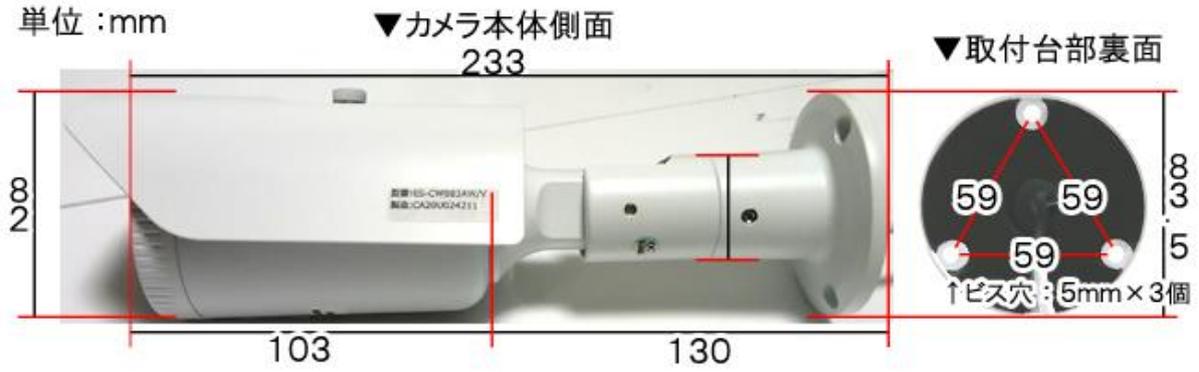
13. 本機画素数とモニター画素数

本機画素数は52万画素または200万画素ですが、モニター側がこれを下回る画素数ですと本機本来の画素数が保てません。
モニター表示する場合は、モニター側の画素数もご注意ください。

14. カメラ外観図

● 外観・寸法

単位 : mm



▼コネクタ部

DC12V
入力
ジャック

映像
出力
BNCメス



▼全体



▼レンズ部



15. カメラ仕様

①アナログ52万画素カメラ

▼本機▼				
総画素数	アナログ52万画素カメラ(960H)			
型番	ES-CW817AW/C	ES-CW883AW/V	ES-CD650AW/C	ES-CD619AW/C
外観				
ボディカラー	ホワイト			
形状	筒型		ドーム型	
設置可能箇所	屋内・屋外			屋内・屋外軒下
防塵・防雨仕様	○ : IP66 (雨ざらし対応)			× : 雨ざらし非対応
ボディ材質	アルミ合金			プラスチック
赤外線LED・投射距離	24灯・15m	42灯・20m	15灯・10m	24灯・15m
被写体識別目安距離	2~5m	2~15m	2~15m	
搭載レンズ	3.6mm (固定)	2.8~12mm	3.6mm (固定)	
画角範囲	水平約67°垂直約53°	アウト最大 : 水平81° 垂直64° イン最大 : 水平22° 垂直17°	水平約67°垂直約53°	
CCD/解像度/F値	1/3' CMOS / 960H / 画像明るさ指標2.0 (標準)			
ビデオ・音声信号出力形式	●映像 : NTSC / CVBS (コンポジット映像信号) / 1Vp-p:75Ω ●音声なし			
各種レベル調整	電子シャッター1/60sec / 映像レベル調整 : 固定 / 色彩調整 : 固定			
電源/消費電流/電力	DC12V/600mA/6W	DC12V/1A/12W	DC12V/500mA/7.2W	
重量[g]	270	550	320	270
寸法[mm]・詳細別項	高65.5-全長175	高82-全長233	高82-直径102	高97-直径139
使用温度範囲	-5℃ ~ +40℃			0℃ ~ +40℃
付属品	日本語取扱説明書・保証書・ビス関連 / アダプタ・ケーブル別売 (レコーダーセットは付属)			
製品保証期間	2年間 (別途有償で合計3年保証制度有)			

②AHD200万画素カメラ

▼本機▼				
総画素数	AHD200万画素カメラ(1080P) / AHD			
型番	ES-CW817PW/C	ES-CW883PW/V	ES-CD650PW/C	ES-CD619PW/C
外観				
ボディカラー	ホワイト			
形状	筒型		ドーム型	
設置可能箇所	屋内・屋外			屋内・屋外軒下
防塵・防雨仕様	○ : IP66 (雨ざらし対応)			× : 雨ざらし非対応
ボディ材質	アルミ合金			プラスチック
赤外線LED・投射距離	24灯・15m	42灯・20m	15灯・10m	24灯・10m
被写体識別目安距離	2~5m	2~15m	2~15m	
搭載レンズ	3.6mm (固定)	2.8~12mm	3.6mm (固定)	
画角範囲	水平約67°垂直約53°	アウト最大 : 水平81° 垂直64° イン最大 : 水平22° 垂直17°	水平約67°垂直約53°	
CCD/解像度/F値	1/3' CMOS / 1080P / 画像明るさ指標2.0 (標準)			
各種レベル調整	電子シャッター1/60sec / 映像レベル調整 : 固定 / 色彩調整 : 固定			
電源/消費電流/電力	DC12V/600mA/6W	DC12V/1A/12W	DC12V/500mA/7.2W	
重量[g]	270	550	320	270
寸法[mm]・詳細別項	高65.5-全長175	高82-全長233	高82-直径102	高97-直径139
使用温度範囲	-5℃ ~ +40℃			0℃ ~ +40℃
付属品	日本語取扱説明書・保証書・ビス関連 / アダプタ・ケーブル別売 (レコーダーセットは付属)			
製品保証期間	2年間 (別途有償で合計3年保証制度有)			

16. アフターサービスについて

1. 日頃のお手入れについて

6カ月に1度は、本機の外観のホコリ等の除去をお願い致します。

2. 本機に異常が見られたとき

- ① 保証期間内に異常が見られた場合は、別紙保証書の保証規定をご覧ください。
- ② 保証期間外に異常が見られた場合ですが、一度当社へご連絡をお願い致します。
当社は安価型システム販売専門としている為、安価型商品を修理致しますと、以下のような項目の費用が発生し、最終的には新品価格と同等になります。

- 1) 修理部品(症状により様々)
- 2) 修理工賃
- 3) 諸経費
- 4) 配送費

従いまして、原則修理は受け付けておらず、新品への更新をお勧めしております。
但し、不具合の症状の中には本機異常以外の理由で、

例1 : 映像にノイズ発生。
実は、コネクタ接続部の接触不良で本機には問題なし。

例2 : 映像が映らなくなった。
実は、モニターの電源が付かなくなっていた。

という事も御座いますので、機器点検は当社にて受け付けております。
エンドユーザー様より当社への発送費用は元払い（エンドユーザー様のご負担）をお願い致します。
その点検にて軽微な症状例の場合ですが、以下に例を明記します。

例1 : ケーブル類の接触・断線寸前（カメラ関係でよくある症例）
⇒ 修理可能

例2 : 内部バッテリー、HDD異常（レコーダー関係でよくある症例）
⇒ 修理可能

というように、軽微な症状例ですと修理は可能で御座います。
点検ご依頼の際は、点検結果をご報告致し、その際に軽微な症状に対する修理が可能と判断させて頂いた場合は、お見積り金額も提示させて頂きます。尚、点検は無料にて行っております。
点検対象商品を当社からエンドユーザー様へお送りする際の費用はエンドユーザー様ご負担をお願い致します。
尚、廃棄物処理は受け付けておりませんので、当社へお送りして頂いた商品は必ずご返送させて頂きます。

また代替機の貸し出しは一切行っておりませんので、予めご了承ください。

3. その他ご不明な点に付きましてはお問合せください。

合同会社エレックスシステム

TEL : 045-317-9873

FAX : 050-3156-3747

e-mail : info@elexsystem.co.jp

修理のご依頼や保証期間内のご返送先は、
保証書・納品書に"記載してる住所ではありません。"
ご依頼・保証ご請求の際はメール・お電話にてお問合せ
ください。別途ご案内致します。

Copyright © ELEX SYSTEM. All Right Reserved.